

Power Copy2

コピー機を操作する感覚でスキャナからプリンタへ
ダイレクトに画像出力ができるアプリケーション

ユーザーズマニュアル

お願い

- 本製品をお使いになる前に、本書をよくお読みください。本文中の注意事項は必ずお守りください。
- 本書は、必要なときにすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

目次

はじめに —4

ライセンスについて —4

お願いとお断り —4

商標について —5

略称について —5

マークについて —5

PowerCopy2 について —6

PowerCopy2 の機能 —6

動作モードについて —8

動作環境 —10

PowerCopy2 —10

PowerCopy2 サーバ —11

対応スキャナ —12

対応プリンタ —13

第1章 セットアップ —14

PowerCopy2 のセットアップ —15

スタンドアロンで使用する —15

ネットワークで使用する —17

ライセンスの購入とシリアル番号の登録 —21

ライセンスの購入 —21

シリアル番号の登録 —21

PowerCopy2 の削除 —22

第2章 PowerCopy2 の使い方 —23

PowerCopy2 の起動と終了 —24

PowerCopy2 の起動 —24

PowerCopy2 の終了 —24

PowerCopy2 の画面について —25

メインダイアログ —25

プレビューダイアログ —27

スキャナ、共有 BOX を登録する —28

読み込んだ画像をプリンタへコピー出力する —30

画像を読み込んで保存する —34

読み込んだ画像を複数の保存先に保存する —37

共有 BOX の画像ファイルをコピー保存する —40

読込エリアの設定 —42

読込エリアの設定 —42

複数の読込エリアを設定する —43

第 3 章 PowerCopy2 サーバの使い方 —44

PowerCopy2 サーバの起動と終了 —45

PowerCopy2 サーバの起動 —45

PowerCopy2 サーバの終了 —45

PowerCopy2 サーバの画面について —46

スキャナ、共有 BOX の管理 —48

スキャナの接続 —48

共有 BOX の設定 —48

PowerCopy2 のアクセスを管理する —53

全 PowerCopy2 からのアクセスを許可する —53

アクセスを許可する PowerCopy2 を指定する —54

PowerCopy2 のアクセス権を削除する —55

ログファイル出力 —56

ログの取得を開始する —56

ログファイルを参照する —57

第 4 章 環境設定 —58

PowerCopy2 の使用環境を設定する —59

読み込みスタイルを設定する —62

スタイルの登録 —62

スタイルの削除 —62

ユーザーサポートセンターについて —63

ユーザーサポートセンター —63

受付時間 —63

はじめに

このたびは、PowerCopy2をご利用いただき、誠にありがとうございます。

PowerCopy2は、コピー機を操作するような手軽さで、スキャナからダイレクトにプリンタへ出力することができるアプリケーション「PowerCopy2」と、複数の「PowerCopy2」によるネットワーク上でのスキャナ共有や、画像ファイルの共有を管理するアプリケーション「PowerCopy2 サーバ」から構成されるWindows®用ソフトウェアです。

ライセンスについて

「PowerCopy2」は機能制限付きの体験版として試用することができます。体験版として、以下の機能制限があります。

- コピー機能やスキャナ機能をご利用の際、出力や保存するデータの右下に、それぞれ「PowerCopy2で作成しました。」というメッセージが挿入されます。
- 共有BOX機能はご利用いただけません。

PowerCopy2の全機能をご利用になるには、ライセンスをご購入いただき、シリアル番号を登録する必要があります。シリアル番号をPowerCopy2に登録することにより、使用制限が解除され全機能をご利用いただくことができます。

ライセンスのご購入方法およびシリアル番号の登録方法については、後述の「第1章 セットアップ – ライセンスの購入とシリアル番号の登録」をご覧ください。

お願いとお断り

- スキャナやプリンタなどの機器、およびそのオプションについてご不明な点がありましたら、機器の取り扱い説明書をご参照ください。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 本書中の画面やイラストについて、実際の画面と異なる場合があります。ご了承ください。
- 本書の内容を無断で複製・転載することは禁止されています。

商標について

- Canon、Canon ロゴ、CanoScan、LASER SHOT、BJ、PIXUS、Satera はキヤノン株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NT は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Pentium はアメリカ合衆国および他におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。
- その他、本書記載の会社名、製品名は、各会社、一般に各社の商標または登録商標です。

略称について

本書中、「Windows」は、Microsoft® Windows operating system の略称として表記しています。

マークについて

本書では、本製品を安全に正しくご利用いただくために、お守りいただきたいことや参考にしていただきたいことを次のように記載しています。



お取り扱い上、守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。
機械の故障・損傷や過った操作を防ぐために、必ずお読みください。



PowerCopy2 の操作上、参考になることや補足事項が書かれています。
ご一読ください。

PowerCopy2 について

本製品は、2つのアプリケーション「PowerCopy2」、「PowerCopy2 サーバ」で構成されています。

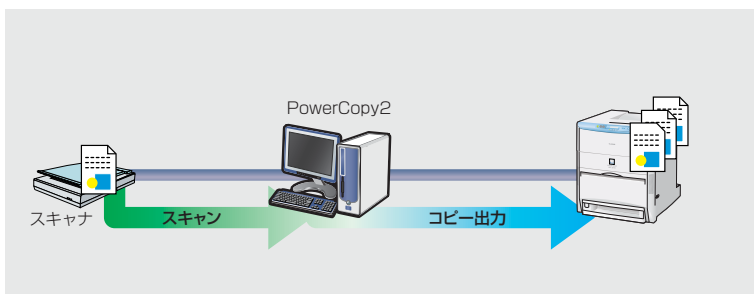
「PowerCopy2」は、スキャナから読み込んだ画像データをダイレクトにプリンタへ出力したり、保存を行うことができます。

「PowerCopy2 サーバ」は、ネットワーク上にある複数の「PowerCopy2」で、スキャナを共有したり、ネットワーク上に公開された「共有 BOX」で画像ファイルを共有したりする場合に使用します。

PowerCopy2 の機能

コピー機能

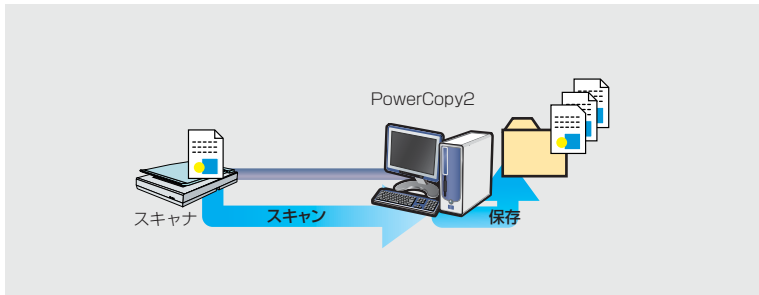
コピー機能は、スキャナから読み込んだ画像ファイルを、指定したプリンタへダイレクトに出力することができます。



コピー機能の使い方については、「第2章 PowerCopy2 の使い方 - 読み込んだ画像をプリンタへコピー出力する」をご覧ください。

スキャン機能

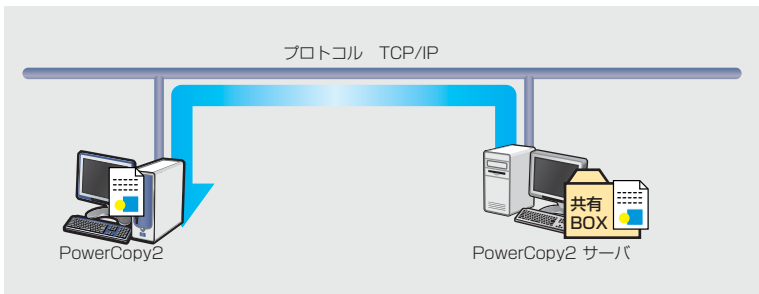
スキャン機能は、スキャナから読み込んだ画像ファイルを指定したフォルダに保存します。



スキャン機能の使い方については、「第2章 PowerCopy2 の使い方 - 画像を読み込んで保存する」をご覧ください。

共有 BOX 機能

共有 BOX 機能は、PowerCopy2 サーバ上の共有 BOX に保存されている画像ファイルを読み込むことができます。



共有 BOX の設定については「第3章 PowerCopy2 サーバの使い方 - スキャナ、共有 BOX の管理」をご覧ください。

共有 BOX 機能の使い方については「第2章 PowerCopy2 の使い方 - 共有 BOX の画像ファイルをコピー保存する」をご覧ください。



共有 BOX 機能はネットワークモード（後述の「動作モードについて」）をご覧ください）の場合のみご使用いただけます。

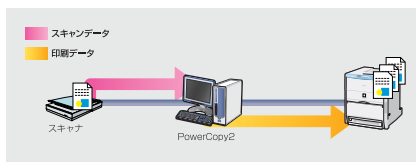
また、共有 BOX 機能を活用するには、PowerCopy2 サーバが Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP の各 OS 上で動作している必要があります。

動作モードについて

PowerCopy2 は、1 台のコンピュータで使用する「スタンドアロンモード」と、ネットワークで使用する「ネットワークモード」の 2 種類の動作モードがあります。

スタンドアロンモード

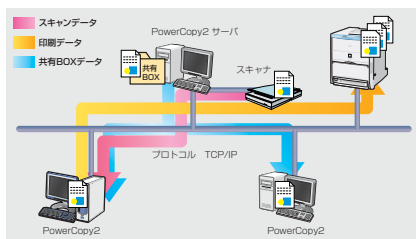
スタンドアロンモードは、1 台のコンピュータで、スキャナから読み込んだ画像ファイルのコピー印刷や、データ保存などを行います。



ネットワークモード

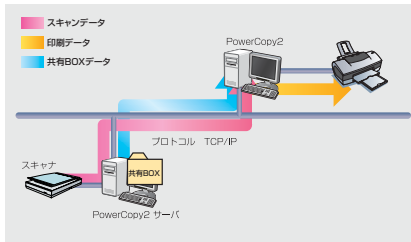
ネットワークモードは、PowerCopy2 と PowerCopy2 サーバで構成され、ネットワーク上でデータを共有することができます。

PowerCopy2 は、PowerCopy2 サーバに接続されているスキャナや PowerCopy2 サーバ上にある共有 BOX から画像ファイルを読み込むことができます。

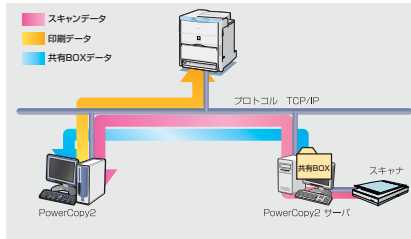


PowerCopy2 サーバと PowerCopy2 間は TCP/IP プロトコルを使用して動作します。ネットワークの設定や、接続方法等については、コンピュータの取扱説明書をご参照ください。

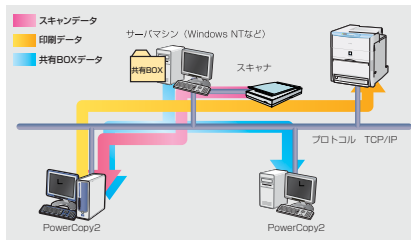
PowerCopy2 ネットワークモードの接続例



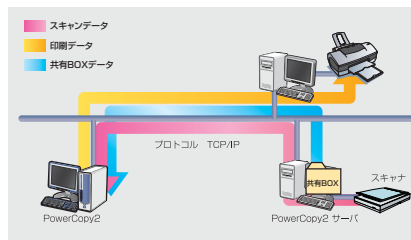
PowerCopy2 サーバを経由して読み込んだデータを、コンピュータに直接接続したプリンタに出力



PowerCopy2 サーバを経由して読み込んだデータを、ネットワーク上のプリンタへ Peer to Peer 出力



PowerCopy2 サーバを経由して読み込んだデータを、Windows NTなどのサーバに管理されたネットワーク上のプリンタへ出力



PowerCopy2 サーバを経由して読み込んだデータを、ネットワーク上の共有化されているプリンタへ出力

動作環境

PowerCopy2

OS

Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版

Microsoft Windows NT® 4.0 Workstation および Server (Service Pack 4 以上) 日本語版

Microsoft Windows 2000 Professional および Server 日本語版

Microsoft Windows XP Home Edition および Professional 日本語版

(Windows NT 4.0 および Windows 2000/XP Professional ではインストールに Administrator の権限が必要)

コンピュータ

Intel® Pentium® プロセッサ、または互換のプロセッサを搭載し、上記 OS が正常に動作するパーソナルコンピュータ (Pentium II 以上を推奨)

メモリー

搭載メモリー 128 MB 以上 (イメージによってはさらに多くの空き容量が必要) で、上記 OS が正常に動作するメモリー容量

ハードディスク

20MB 以上の空き容量 (イメージによっては、さらに多くの空き容量が必要)

ネットワーク

Ethernet、TCP/IP



ネットワークの設定や、接続方法等については、コンピュータの取扱説明書等をご参照ください。

モニター解像度

640 × 480 ピクセル (VGA) 以上、16bit カラー (High Color) 以上

PowerCopy2 サーバ

OS

Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版

Microsoft Windows NT 4.0 Workstation および Server (Service Pack 4 以上) 日本語版

Microsoft Windows 2000 Professional および Server 日本語版

Microsoft Windows XP Home Edition および Professional 日本語版

(Windows NT 4.0 および Windows 2000/XP Professional ではインストールに Administrator の権限が必要)

コンピュータ

Intel Pentium プロセッサ、または互換のプロセッサを搭載し、上記 OS が正常に動作するパーソナルコンピュータ (Pentium II 以上を推奨)

スキャナが動作する環境についてはスキャナの動作環境仕様に準ずる。

メモリー

搭載メモリー 128MB 以上 (イメージによってはさらに多くの空き容量が必要) で、上記 OS が正常に動作するメモリー容量

ハードディスク

10MB 以上の空き容量 (イメージによっては、さらに多くの空き容量が必要)

ネットワーク

Ethernet、TCP/IP



ネットワークの設定や、接続方法等については、コンピュータの取扱説明書等をご参照ください。

モニター解像度

640 × 480 ピクセル (VGA) 以上、16bit カラー (High Color) 以上

対応スキャナ

キヤノン製パーソナル向けスキャナ

その他 TWAIN 仕様のスキャナおよび対応スキャナドライバー

対応キヤノン パーソナル向けスキャナ【キヤノスキャン】

CanoScan 5000	CanoScan 3000F	CanoScan 5000F
CanoScan 8000F	CanoScan 8200F	CanoScan 9900F
CanoScan N656U	CanoScan N676U	CanoScan N1220U
CanoScan N1240U	CanoScan D646U	CanoScan D660U
CanoScan D1230U	CanoScan D1250U2(F)	CanoScan D2400U(F)
CanoScan LiDE20	CanoScan LiDE30	CanoScan LiDE40
CanoScan LiDE50	CanoScan LiDE80	



スキャナの取り扱いについてはスキャナに同梱の取扱説明書をご覧ください。
また、スキャナのスキャンボタン等の操作ボタンには対応しておりません。
操作すると誤作動の原因となる場合があるため、それら操作を無効にできる
場合は無効となるよう設定してください。



PowerCopy2 サーバに複数台のスキャナを登録した場合、ご環境によっては
起動時にスキャナドライバのエラーメッセージが表示される場合があります。
その場合は、ご使用のスキャナの取扱説明書をご覧ください。



上記は 2003 年 12 月現在の対応機種です。
最新機種の対応については、下記 URL を参照してください。

<http://www.niigata-canotec.co.jp/product/powercopy/>

対応プリンタ

キヤノン製インクジェットプリンタおよびレーザービームプリンタ
 その他コンピュータから印刷可能なプリンタ

対応キヤノン インクジェットプリンタ [PIXUS/Wonder BJ/BJ]

i シリーズ

PIXUS 9100i	PIXUS 6500i	PIXUS 6100i	PIXUS 990i	PIXUS 950i
PIXUS 860i	PIXUS 850i	PIXUS 560i	PIXUS 550i	PIXUS 455i
PIXUS 450i	PIXUS 320i	PIXUS 50i		

R シリーズ

PIXUS 865R

PD シリーズ

PIXUS 900PD	BJ 895PD	BJ F890PD	BJ F870PD	BJ 535PD
PIXUS 475PD	PIXUS 470PD			

F シリーズ

BJ F9000	BJ F930	BJ F900	BJ F890	BJ F870
BJ F6600	BJ F660	BJ F360	BJ F210	

S シリーズ

BJ S700	BJ S6300	BJ S630	BJ S530	
BJ S500	BJ S330	BJ S300	BJ S200	

対応キヤノン レーザービームプリンタ [Satera LASER SHOT]

LBP5800	LBP5700	LBP5500	LBP3200	LBP-2810
LBP-2710	LBP-2510	LBP-2410	LBP-2360	LBP-2300
LBP-2260PS	LBP-2050	LBP-1910	LBP-1820	LBP-1810
LBP-1710	LBP-1620	LBP-1610	LBP-1510	LBP-1420
LBP-1310	LBP-1210	LBP-1120	LBP-1110	LBP-1110SE
LBP-950	LBP-470	LBP-350		



プリンタとコンピュータの接続方法や印刷方法等については、プリンタの取扱説明書をご参照ください。



上記は 2003 年 12 月現在の対応機種です。
 最新機種の対応については、下記 URL を参照してください。

<http://www.niigata-canotec.co.jp/product/powercopy/>

第1章

セットアップ

Power Copy2

PowerCopy2 のセットアップ

PowerCopy2 のセットアップは、スタンドアロンでご使用になる場合と、ネットワークでご使用になる場合で異なります。

スタンドアロンでご使用の場合は、「PowerCopy2」、ネットワークでご使用の場合は「PowerCopy2」と「PowerCopy2 サーバ」のセットアップが必要になります。前述の「PowerCopy2 について」をご覧の上、スタンドアロンまたはネットワークのどちらでご使用になるのかをご確認ください。

スタンドアロンで使用する

用意するもの

- 正常動作しているスキャナなどのデバイスが接続され、プリンタへ正常に印刷できるコンピュータ

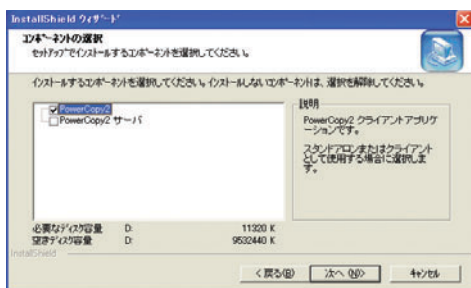


PowerCopy2 は、スキャナのデバイスドライバを自動認識します。PowerCopy2 をセットアップする前に、必ずスキャナが正しく接続され、正常動作しているかご確認ください。スキャナの接続やデバイスドライバについては、ご使用のスキャナの取扱説明書をご参照ください。

7

PowerCopy2 のインストール

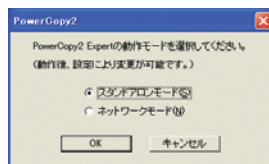
- Windows NT 4.0 および Windows 2000/XP Professional の場合は、Administrator 権限のあるユーザーでコンピュータにログオンします。
- 他のアプリケーションが起動している場合は、全て終了します。
- PowerCopy2 のインストールプログラムを起動します。
- インストール画面が表示されるので、画面の指示にしたがってインストールを実行します。
- インストールの途中で、オプションの選択ダイアログが表示され、「インストールするコンポーネントを選択してください。」というメッセージが表示されたら、「PowerCopy2」を選択し、インストールを続行します。



2

スタンドアロンモードの設定

- PowerCopy2 を起動します。
動作モード設定ダイアログが表示されます。
- 「スタンドアロンモード」を選択します。
- [OK] ボタンをクリックします。



このダイアログは初回起動時のみ表示されます。
スタンドアロンモードとネットワークモードの設定は設定機能で変更することもできます。「第 4 章 環境設定」をご覧ください。



PowerCopy2 は機能制限付きの体験版として試用することができます。
PowerCopy2 の全機能を利用するには、ライセンスをご購入いただき、シリアル番号を登録する必要があります。機能制限については P4 の「ライセンスについて」を、ライセンスの購入方法及びシリアル番号の登録については「第 1 章 セットアップ – ライセンスの購入とシリアル番号の登録」をご覧ください。

ネットワークで使用する

PowerCopy2 サーバのインストール時に用意するもの

- TCP/IP 通信が可能で、正常動作しているスキャナなどのデバイスが接続されているコンピュータ



PowerCopy2 サーバは、スキャナのデバイスドライバーを自動認識します。PowerCopy2 サーバをセットアップする前に、必ずスキャナが正しく接続され、正常動作しているかご確認ください。スキャナの接続やデバイスドライバーについては、ご使用のスキャナの取扱説明書をご参照ください。

PowerCopy2 のインストール時に用意するもの

- TCP/IP 通信が可能で、プリンタへ正常に印刷できるコンピュータ

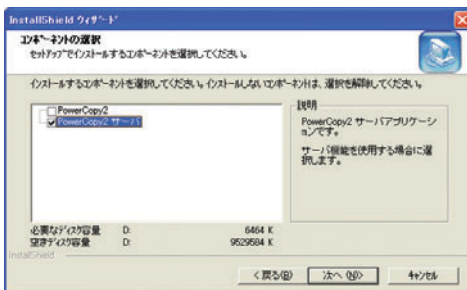


ネットワークの設定や、接続方法等については、コンピュータの取扱説明書等をご参照ください。

7

PowerCopy2 サーバのインストール

- Windows NT 4.0 および Windows 2000/XP Professional の場合は、Administrator 権限のあるユーザーでコンピュータにログオンします。
- 他のアプリケーションが起動している場合は、全て終了します。
- PowerCopy2 のインストールプログラムを起動します。
- インストール画面が表示されるので、画面の指示にしたがってインストールを実行します。
- インストールの途中で、オプションの選択ダイアログが表示され、「インストールするコンポーネントを選択してください。」というメッセージが表示されたら、「PowerCopy2 サーバ」を選択し、インストールを続行します。



2

PowerCopy2 サーバの設定

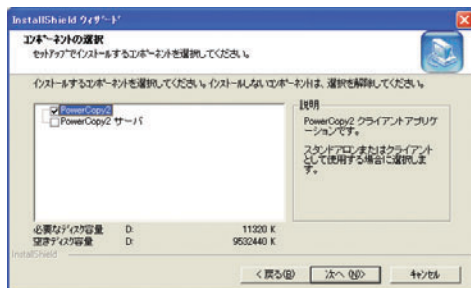
PowerCopy2 サーバで使用するスキャナや共有 BOX を設定する

「第3章 PowerCopy2 サーバの使い方 - スキャナ、共有 BOX の管理」をご覧ください。

3

PowerCopy2 のインストール

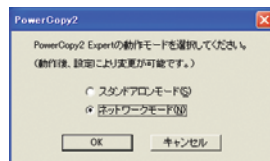
- Windows NT 4.0 および Windows 2000/XP Professional の場合は、Administrator 権限のあるユーザーでコンピュータにログオンします。
- 他のアプリケーションが起動している場合は、全て終了します。
- PowerCopy2 のインストールプログラムを起動します。
- インストール画面が表示されるので、画面の指示にしたがってインストールを実行します。
- インストールの途中で、オプションの選択ダイアログが表示され、「インストールするコンポーネントを選択してください。」というメッセージが表示されたら、「PowerCopy2」を選択し、インストールを続行します。



4

PowerCopy2 の設定 - ネットワークモードの設定

- PowerCopy2 を起動します。
動作モード設定ダイアログが表示されます。
- 「ネットワークモード」を選択します。
- [OK] ボタンをクリックします。

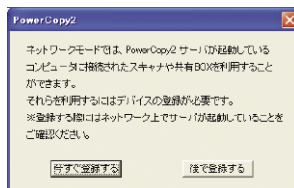


このダイアログは初回起動時のみ表示されます。
スタンダードモードとネットワークモードの設定は設定機能で変更することもできます。「第4章 環境設定」をご覧ください。

5

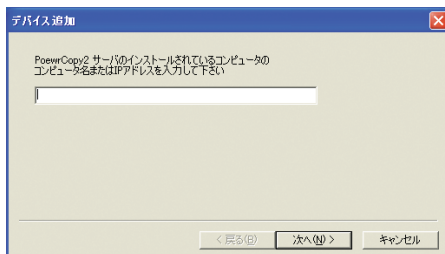
PowerCopy2 の設定 — PowerCopy2 サーバに登録されているスキャナ、共有 BOX を選択する

- ネットワーク上の PowerCopy2 サーバが起動していることを確認してください。
- [今すぐ登録] ボタンをクリックします。デバイス追加ダイアログが表示されます。



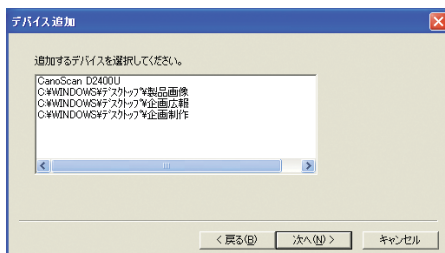
[後で登録] をクリックした場合は、「第 2 章 PowerCopy2 の使い方 — スキャナ、共有 BOX の設定」をご覧の上、セットアップ後にスキャナや共有 BOX の設定を行ってください。

- PowerCopy2 サーバがインストールされているコンピュータの IP アドレス、またはコンピュータ名を入力します。
- [次へ] ボタンをクリックします。

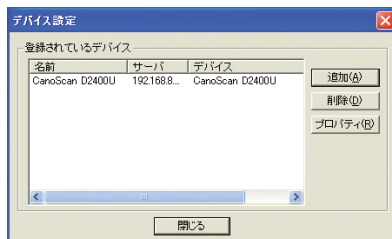
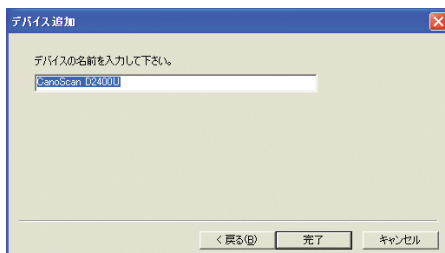


「サーバに接続できませんでした。」というエラーが表示された場合は、入力した PowerCopy2 サーバがインストールされているコンピュータの IP アドレス、またはコンピュータ名が正しいかどうか、PowerCopy2 サーバコンピュータとの TCP/IP 通信が正常に動作しているかどうかをご確認ください。

- PowerCopy2 サーバに登録されているスキャナ、共有 BOX のリストが表示されます。
- リストから、使用するスキャナまたは共有 BOX を選択します。
- [次へ] ボタンをクリックします。



- 選択したスキャナまたは共有 BOX に付ける名前を入力します。ここで入力する名前は設定を行っている PowerCopy2 上で参照される名前です。
- [完了] ボタンをクリックします。
デバイス設定ダイアログが表示され、リストに、追加したスキャナ、共有 BOX が表示されます。
- [閉じる] ボタンをクリックします。



スキャナや共有 BOX は設定機能で追加／変更することができます。
「第 2 章 PowerCopy2 の使い方 - スキャナ、共有 BOX の設定」をご覧ください。

ライセンスの購入とシリアル番号の登録

PowerCopy2の全機能をご利用いただくには、ライセンスをご購入いただき、シリアル番号を登録する必要があります。機能制限についてはP4の「ライセンスについて」をご覧ください。

ライセンスの購入

PowerCopy2は下記URLよりご購入いただけます。

<http://shop.niigata-canotec.co.jp/soft/software.html>

ライセンスをご購入いただくと、弊社よりシリアル番号を送信させていただきます。

シリアル番号の登録

1

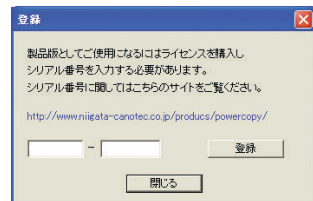
PowerCopy2を起動します。

2

【登録】ボタンをクリックします。
登録ダイアログが表示されます。

3

シリアル番号を入力します。
弊社より送信されたシリアル番号を入力し、
【登録】ボタンをクリックします。



4

登録完了のメッセージが表示されます。
【閉じる】ボタンをクリックし、登録ダイアログを閉じてメインダイアログに戻ります。

PowerCopy2 の削除

1

[Windows Me/2000 でご使用の場合は「アプリケーションの追加と削除」、Windows XP でご使用の場合は「プログラムの追加と削除」を起動します。

- コントロールパネルを開きます。
- Windows Me/2000 の場合は [アプリケーションの追加と削除] を、Windows XP の場合は [プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。
Windows Me/2000 の場合はアプリケーションの追加と削除のプロパティダイアログ、Windows XP の場合はプログラムの追加と削除ダイアログが表示されます。

2

「PowerCopy2」を削除します。

- Windows Me の場合は [インストールと削除] タブを選択します。
Windows 2000/XP の場合は [プログラムの変更と削除] ボタンをクリックします。
- リストから [PowerCopy2] を選択します。
- Windows Me の場合は [追加と削除] ボタン、Windows 2000 の場合は [変更 / 削除] ボタン、Windows XP の場合は [変更と削除] ボタンをクリックします。
- 画面の指示に従い、PowerCopy2 を削除してください。

第2章

PowerCopy2

PowerCopy2の 使い方

PowerCopy2 の起動と終了

2

● 第2章 PowerCopy2 の使い方

PowerCopy2 の起動

PowerCopy2 インストール後、デスクトップ上に表示される「PowerCopy2」アイコンをダブルクリックするか、[スタート] ボタン → [(すべての) プログラム] → [PowerCopy2] → [PowerCopy2] をクリックします。



PowerCopy2 の終了

PowerCopy2 のメインダイアログにある終了ボタンをクリックします。



PowerCopy2 の画面について

2

メインダイアログ



● 第2章 PowerCopy2 の使い方



PowerCopy2 を終了します。



PowerCopy2 ダイアログを最小化して、タスクバーに表示します。



PowerCopy2 のバージョン情報や URL を表示します。



コピー／スキャン／ファイルのコピーを開始します。



コピーやスキャン中にエラーが発生し、PowerCopy2 画面のエラーランプが点灯した場合、エラーをリセットします。



選択されているスキナのプレビューを取得してプレビューウィンドウで表示します。

共有 BOX 機能では、共有 BOX 内の情報を更新します。



シリアル番号の登録ダイアログを表示します。



コピーの枚数を指定します。



カラーモードや解像度、画像サイズ、明るさ、コントラストの設定を全てご購入時の設定に戻します。



ヘルプを表示します。



コピー、スキャン、共有BOX、設定の各機能操作パネルの表示を切り替えます。



コピー機能操作パネル

コピー機能における、各種設定を行います。
後述の「読み込んだ画像をプリンタへコピー出力する」をご覧ください。



スキャン機能操作パネル

スキャン機能における、各種設定を行います。
後述の「画像を読み込んで保存する」をご覧ください。



共有BOX 機能操作パネル

共有BOX 機能における、各種設定を行います。
後述の「共有BOX の画像ファイルをコピー保存する」をご覧ください。



設定機能操作パネル

PowerCopy2 の各種設定を行います。
後述の「第4章 環境設定」をご覧ください。



実行ランプ

スキャナなどからの読み込み実行時点灯します。



エラーランプ

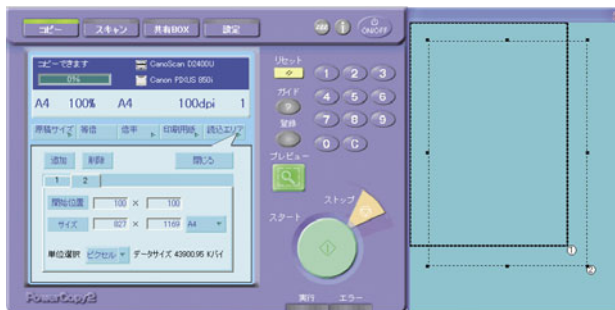
スキャナなどからの読み込み中エラーが発生した際に点灯します。



プレビューダイアログ

コピーやスキャン機能を使って、読み込んだ画像のプレビューを表示します。

プレビュー上で、特定のエリア（読込エリア）を設定し、エリア内の画像だけをコピー出力、保存することもできます。



読込エリアの設定については、後述の「読込エリアを設定する」をご覧ください。

スキャナ、共有 BOX を登録する

ネットワークモードにおけるコピー機能やスキャン機能で使用するスキャナや、共有 BOX の登録を行います。

ここで登録するスキャナ、共有 BOX は、あらかじめ、PowerCopy2 サーバに設定 / 登録されている必要があります。PowerCopy2 サーバにおけるスキャナや共有 BOX の設定 / 登録については「第3章 PowerCopy2 サーバ - スキャン、共有 BOX の管理」をご覧ください。



スタンダロンモードでご使用の場合は、この設定は必要ありません。



共有 BOX 機能を使用するには、PowerCopy2 サーバが Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP の各 OS 上で動作している必要があります。



PowerCopy2 サーバに複数台のスキャナを登録した場合、ご環境によっては起動時にスキャナドライバのエラーメッセージが表示される場合があります。その場合は、ご使用のスキャナの取扱説明書をご覧ください。

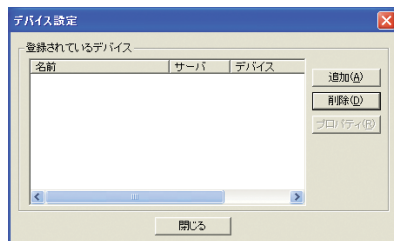
1

デバイス設定ダイアログを表示します。

- PowerCopy2 を起動します。
- PowerCopy2 メインダイアログで、[設定] ボタンをクリックします。



- [デバイス設定] ボタンをクリックします。
デバイス設定ダイアログが表示されます。



2

PowerCopy2 サーバに登録されているスキャナ、共有 BOX を選択します。

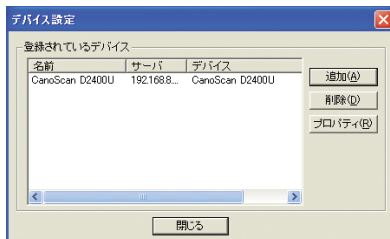
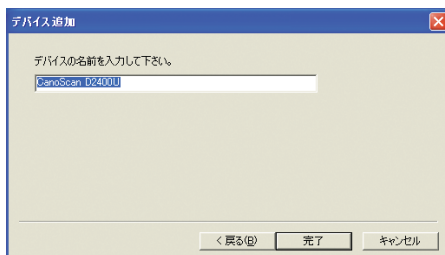
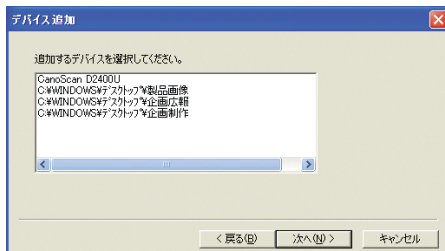
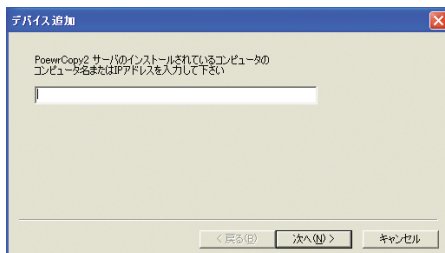
- [追加] ボタンをクリックします。
デバイスの追加ウィザードが表示されます。
- PowerCopy2 サーバがインストールされているコンピュータの IP アドレス、またはコンピュータ名を入力します。
- [次へ] ボタンをクリックします。



「サーバに接続できませんでした。」というエラーが表示された場合は、入力した PowerCopy2 サーバがインストールされているコンピュータの IP アドレス、またはコンピュータ名が正しいかどうか、PowerCopy2 サーバコンピュータとの TCP/IP 通信が正常に動作しているかどうかをご確認ください。

- PowerCopy2 サーバに登録されているスキャナ、共有 BOX のリストが表示されます。
- リストから、使用するスキャナまたは共有 BOX を選択します。
- [次へ] ボタンをクリックします。

- 選択したスキャナまたは共有 BOX に付ける名前を入力します。
ここで入力する名前は設定を行っている PowerCopy2 上で参照される名前です。
- [完了] ボタンをクリックします。
デバイス設定ダイアログに戻り、リストに、追加したスキャナ、共有 BOX が表示されます。
- [閉じる] ボタンをクリックします。



読み込んだ画像をプリンタへコピー出力する

2

● 第2章 PowerCopy2 の使い方

スキャナから読み込んだ画像を指定したプリンタへダイレクトに出力することができます。



シリアル番号の登録をしていない場合、プレビュー／保存／印刷時、右下に「PowerCopy2 で作成しました」というメッセージが挿入されます。ライセンスをご購入いただき、シリアル番号を登録する必要があります。ライセンスの購入方法及びシリアル番号の登録については「第1章 セットアップ」－「ライセンスの購入とシリアル番号の登録」をご覧ください。

1

コピー機能操作パネルを表示します。

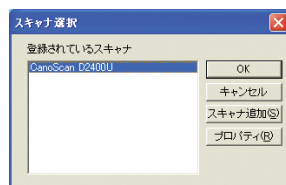
- [コピー] ボタンをクリックします。



2

スキャナを選択します。

- [スキャナ] ボタンをクリックします。
スキャナ選択ダイアログが表示されます。
- リストから使用するスキャナを選択します。
- [OK] ボタンをクリックします。



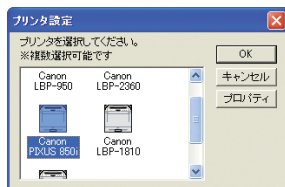
リストに該当するスキャナが表示されない場合は、以下の確認を行ってください。

- スタンドアロンモードの場合
スキャナの取扱説明書をご参照の上、接続方法や、デバイスドライバーが正しく設定されているかどうかご確認ください。
- ネットワークモードの場合
前述の「スキャナ、共有 BOX を登録する」をご覧ください。該当するスキャナが正しく登録されているかどうかご確認ください。

3

プリンタを選択します。

- [プリンタ] ボタンをクリックします。
プリンタ設定ダイアログが表示されます。
- プリンタのプロパティを設定する場合は、[プロパティ] ボタンをクリックします。
- 出力先のプリンタを選択します。
Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら複数選択することもできます。
- [OK] ボタンをクリックします。



リストに該当するプリンタが表示されない場合は、プリンタの取扱説明書をご参照の上、接続方法や、プリンタドライバが正しく設定されているかどうかご確認ください。



プリンタは最大 10 台まで選択することができます。

4

読み込む画像のサイズを選択します。

- [原稿サイズ] ボタンをクリックします。
- 表示される画像サイズのメニューからサイズを選択します。
- [閉じる] ボタンをクリックします。



5

印刷用紙を選択します。

- [印刷用紙] ボタンをクリックします。
- 表示される印刷用紙のプルダウンメニューから、印刷用紙のサイズを選択します。
- [閉じる] ボタンをクリックします。



6

倍率を選択します。

- 読み込む元画像と同じサイズで読み込む場合は、「等倍」ボタンをクリックします。
- 倍率を変更する場合は「倍率」ボタンをクリックします。
- 表示される倍率のメニューで倍率を指定します。
直接数値を入力することも可能です。
- 「閉じる」ボタンをクリックします。



読み込み画像のサイズによっては、プリンタの印刷可能領域に収まらない場合があります。このような場合、PowerCopy2 では、画像の左上を起点として印刷を行います。
画像サイズを拡大／縮小して調整してください。プリンタの印刷可能領域については、ご使用のプリンタの取扱説明書をご参照ください。

7

プレビューを実行します。

- 「プレビュー」ボタンをクリックします。
スキャナから画像を読み込み、プレビューを表示します。
指定した範囲だけをコピー出力する場合は、「読込エリア」ボタンをクリックして読込エリアを設定します。
読込エリアの設定方法については、後述の「読込エリアの設定」をご覧ください。

8

読み込みスタイルを設定します。

- 解像度を選択します。
「解像度」プルダウンメニューから、解像度を選択します。



ビジネスユースでの最適なパフォーマンスを得るために、600dpi 以下での使用をお勧めします。

- カラーモードを選択します。

[カラーモード] プルダウンメニューから、読み込む画像のカラーモードを選択します。

- ご使用のスキヤナの ADF（オートドキュメントフィーダー）を使用して読み込みを行う場合は、[ADF] プルダウンメニューから「あり」を選択します。
- 明るさを調整します。
- 同じくコントラストを調整します。



解像度、カラーモード、明るさ、コントラスト、ADFの有無、読込エリアは読み込みスタイルとして登録することができます。一度スタイルを登録しておけば、[読み込みスタイル] プルダウンメニューからそのスタイルを選択するだけで各設定を行うことができます。スタイルの登録については「第4章 環境設定 - 読み込みスタイルを設定する」をご覧ください。

9

出力部数を設定します。

- 数字キーをクリックして、印刷部数を設定します。

[C] キーをクリックすると、部数を指定し直すことができます。



10

スキヤナから画像を読み込み、プリンタへコピー出力します。

- スタートボタンをクリックします。

スキヤナから画像を読み込み、「3」で設定したプリンタへコピー出力します。

画像を読み込んで保存する

2

● 第2章 PowerCopy2 の使い方

選択したスキャナから画像を読み込み、保存します。

読み込みスタイルを、あらかじめ登録しておくこともできます。

スタイルの登録については、「第4章 環境設定 - 読み込みスタイルを設定する」をご覧ください。

以下に説明する基本的な使い方は、スタイルを登録していない場合の方法です。



シリアル番号の登録をしていない場合、プレビュー／保存／印刷時に右下に「PowerCopy2 で作成しました」というメッセージが挿入されます。ライセンスをご購入いただき、シリアル番号を登録する必要があります。ライセンスの購入方法及びシリアル番号の登録については「第1章 セットアップ - ライセンスの購入とシリアル番号の登録」をご覧ください。

1

スキャン機能操作パネルを表示します。

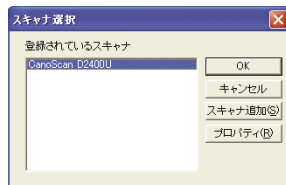
- 「スキャン」 ボタンをクリックします。



2

スキャナを選択します。

- 「スキャナ」 ボタンをクリックします。
スキャナ選択ダイアログが表示されます。
- リストから使用するスキャナを選択します。
- 「OK」 ボタンをクリックします。



リストに該当するスキャナが表示されない場合は、以下の確認を行ってください。

- スタンドアロンモードの場合
スキャナの取扱説明書をご参照の上、接続方法や、デバイスドライバが正しく設定されているかどうかご確認ください。
- ネットワークモードの場合
前述の「スキャナ、共有 BOX を登録する」をご覧ください。該当するスキャナが正しく登録されているかどうかご確認ください。

3

読み込む画像のサイズを選択します。

- [画像サイズ] ボタンをクリックします。
- 表示される画像サイズのプルメニューからサイズを選択します。
- [閉じる] ボタンをクリックします。



4

プレビューを実行します。

- [プレビュー] ボタンをクリックします。
スキャナから画像を読み込み、プレビューを表示します。
指定した範囲だけを保存する場合は、[読込エリア] ボタンをクリックして読込エリアを設定します。
読込エリアの設定方法については、後述の「読込エリアの設定」をご覧ください。

5

読み込みスタイルを設定します。

- 解像度を選択します。
「解像度」プルダウンメニューから、解像度を選択します。



ビジネスユースでの最適なパフォーマンスを得るために、600dpi 以下での使用をお勧めします。

- カラーモードを選択します。
[カラーモード] プルダウンメニューから、読み込む画像のカラーモードを選択します。
- ご使用のスキャナの ADF（オートドキュメントフィーダー）を使用して読み込みを行う場合は、[ADF] プルダウンメニューから「あり」を選択します。
- 明るさを調整します。
- コントラストを調整します。



解像度、カラーモード、明るさ、コントラスト、ADFの有無、読込エリアは読み込みスタイルとして登録することができます。
一度スタイルを登録しておけば、次回から [読み込みスタイル] プルダウンメニューからそのスタイルを選択するだけで各設定を行うことができます。
スタイルの登録については「第4章 環境設定 - 読み込みスタイルを設定する」をご覧ください。

6

スキャナから画像を読み込みます。

- スタートボタンをクリックします。
名前を付けて保存ダイアログが表示されます。



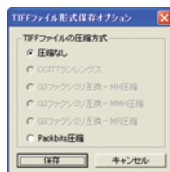
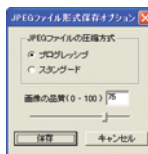
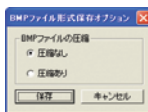
7

読み込んだ画像を保存します。

- 「保存する場所」で、読み込んだ画像ファイルを保存するフォルダを選択します。
- 「ファイル名」に、画像ファイルにつける名前を入力します。
- 「ファイルの種類」で、画像の保存形式を選択します。



PowerCopy2 では、JPEG、BMP、TIFF、マルチページ TIFF の 4 種類のファイル形式で保存することができます。
各ファイル形式には、保存オプションを設定することができます。
「ファイルの種類」を選択後、[保存オプション] ボタンをクリックすると、各種類に合わせたオプションを設定することができます。
※ BMP 圧縮は、カラー 256 色、白黒 256 階調のみ有効です。



- [保存] ボタンをクリックします。



JPEG、BMP、TIFF 形式でファイルを保存する場合、ADF を使用した複数画像の読み込みや、読み込みエリアの複数指定による画像の読み込みを行うと、ファイル名には「7」で入力したファイル名の末尾に自動的に通し番号が付加されます。
例えば、「写真」というファイル名を入力した場合、順に「写真-001」、「写真-002」、「写真-003」..... というファイル名で保存されます。

読み込んだ画像を複数の保存先に保存する

読み込んだ画像を複数の保存先に保存することができます。

2

● 第2章 PowerCopy2 の使い方

1

スキャン機能操作パネルを表示します。

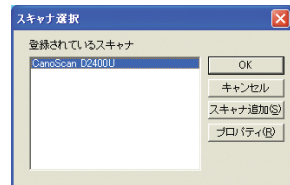
- [スキャン] ボタンをクリックします。



2

スキャナを選択します。

- [スキャナ] ボタンをクリックします。
スキャナ選択ダイアログが表示されます。
- リストから使用するスキャナを選択します。
- [OK] ボタンをクリックします。



リストに該当するスキャナが表示されない場合は、以下の確認を行ってください。

- スタンドアロンモードの場合
スキャナの取扱説明書をご参照の上、接続方法や、デバイスドライバーが正しく設定されているかどうかご確認ください。
- ネットワークモードの場合
前述の「スキャナ、共有BOXを登録する」をご覧ください、該当するスキャナが正しく登録されているかどうかご確認ください。

3

読み込む画像のサイズを選択します。

- [画像サイズ] ボタンをクリックします。
- 表示される画像サイズのメニューからサイズを選択します。
- [閉じる] ボタンをクリックします。



4

プレビューを実行します。

- [プレビュー] ボタンをクリックします。
スキャナから画像を読み込み、プレビューを表示します。
指定した範囲だけをコピー出力する場合は、[読込エリア] ボタンをクリックして読込エリアを設定します。
読込エリアの設定方法については、後述の「読込エリアの設定」をご覧ください。

5

読み込みスタイルを設定します。

- 解像度を選択します。
「解像度」プルダウンメニューから、解像度を選択します。



ビジネスユースでの最適なパフォーマンスを得るために、600dpi 以下での使用をお勧めします。

- カラーモードを選択します。
[カラーモード] プルダウンメニューから、読み込む画像のカラーモードを選択します。
- ご使用のスキャナの ADF（オートドキュメントフィーダー）を使用して読み込みを行う場合は、[ADF] プルダウンメニューから「あり」を選択します。
- 明るさを調整します。
- コントラストを調整します。

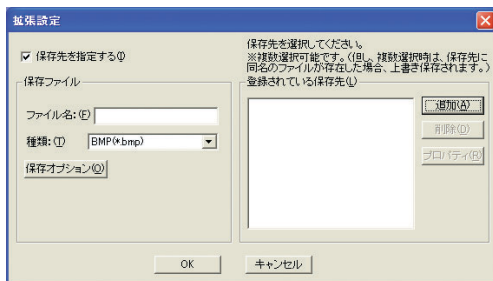


解像度、カラーモード、明るさ、コントラスト、ADFの有無、読込エリアは読み込みスタイルとして登録することができます。
一度スタイルを登録しておけば、次回から「読み込みスタイル」プルダウンメニューからそのスタイルを選択するだけで各設定を行うことができます。
スタイルの登録については「第4章 環境設定 — 読み込みスタイルを設定する」をご覧ください。

6

保存ファイルに関する設定を行います。

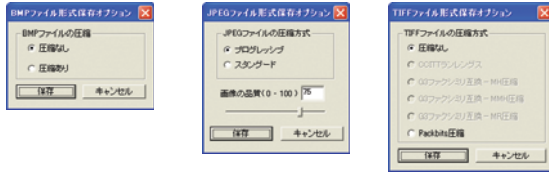
- [拡張] ボタンをクリックします。
拡張設定ダイアログが表示されます。
- [保存先を指定する] をクリックします。



- 「ファイル名：」に、読み込んだ画像につける名前を入力します。
- 「種類」プルダウンメニューから保存するファイルの形式を選択します。



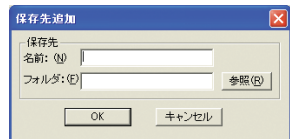
PowerCopy2 では、JPEG、BMP、TIFF、マルチページ TIFF の4種類のファイル形式で保存することができます。
各ファイル形式には、保存オプションを設定することができます。
「ファイルの種類」を選択後、「保存オプション」ボタンをクリックすると、各種類に合わせたオプションを設定することができます。
※ BMP 圧縮は、256 色カラー、グレーのみ有効です。



7

保存先を登録 / 選択します。

- [追加] ボタンをクリックします。
保存先追加ダイアログが表示されます。
- 「名前」に保存先につける名前を入力します。
ここで保存先に付ける名前は PowerCopy2 上のみで参照される名前です。
- [参照] ボタンをクリックして保存先のフォルダを選択します。
- [OK] ボタンをクリックします。
- 「登録されている保存先」で登録した保存先を選択します。複数選択する場合は Ctrl キーまたは Shift キーを押しながらクリックして選択します。
- [OK] ボタンをクリックします。



8

スキャナから画像を読み込み、保存します。

- スタートボタンをクリックします。
スキャナから画像を読み込み、「6」で設定したファイル名で保存します。



JPEG、BMP、TIFF 形式でファイルを保存する場合、ADF を使用した複数画像の読み込みや、読み込みエリアの複数指定による画像の読み込みを行うと、ファイル名には「7」で入力したファイル名の末尾に自動的に通し番号が付加されます。
例えば、「写真」というファイル名を入力した場合、順に「写真-001」、「写真-002」、「写真-003」..... というファイル名で保存されます。

共有 BOX の画像ファイルをコピー保存する

2

PowerCopy2 サーバによって共有化されたフォルダ（共有 BOX）内の画像ファイルをコピーして保存することができます。

また、複数のファイルを一括保存することもできます。



シリアル番号の登録をしていない場合、共有 BOX 機能を使用することはできません。ライセンスをご購入いただき、シリアル番号を登録する必要があります。「はじめに - ライセンスについて」をご覧ください。

1

共有 BOX 機能操作パネルを表示します。

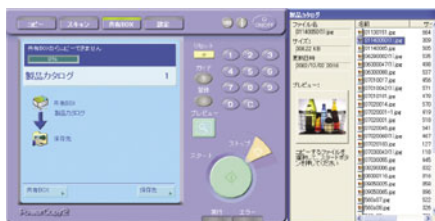
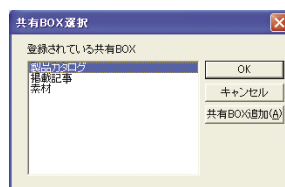
- [共有 BOX] ボタンをクリックします。



2

プレビューする共有 BOX を選択します。

- [共有 BOX] ボタンをクリックします。
共有 BOX 選択ダイアログが表示されます。
- 登録されている共有 BOX リストからプレビューする共有 BOX を選択します。
- [OK] ボタンをクリックします。
- 選択した共有 BOX 内の画像ファイルリストが表示されます。
リストからファイルを選択すると、そのファイルのプレビューが表示されます。



リストに該当する共有 BOX が表示されない場合は、[共有 BOX 追加] ボタンをクリックして、共有 BOX を登録する必要があります。前述の「スキャナ、共有 BOX を登録する」をご覧ください。該当する共有 BOX が正しく登録されているかどうかご確認ください。

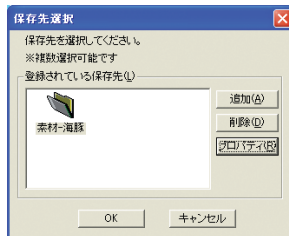


PowerCopy2 では、1 つの共有 BOX 内で 1000 ファイルまでを管理することができます。

3

保存先フォルダを選択します。

- [保存先] ボタンをクリックします。
保存先選択ダイアログが表示されます。
- 保存先を選択します。
Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら複数選択することもできます。
- [OK] ボタンをクリックします。



保存先の追加

[追加] ボタンをクリックすると、保存先追加ダイアログが表示されます。「名前」に、保存先につける名前を入力し（ここで保存先に付ける名前は PowerCopy2 上のみで参照される名前です。）、[フォルダ] で [参照] ボタンをクリックして保存先のフォルダを選択します。



4

画像を一括保存します。

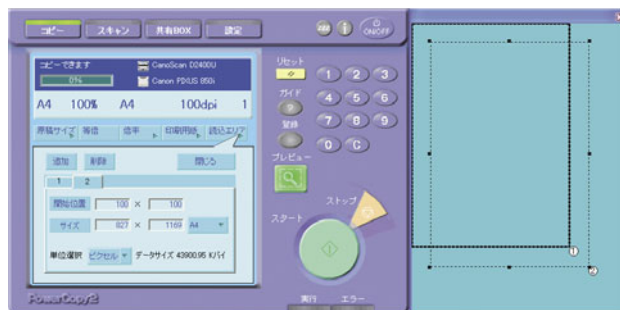
- 保存する画像を選択します。
Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら複数選択することもできます。
- [スタート] ボタンをクリックします。
「3」で選択したフォルダにファイルが一括保存されます。



読込エリアの設定

2

プレビュー上で、特定のエリア（読込エリア）を設定し、エリア内の画像だけをコピー出力、保存することができます。



読込エリアの設定

1

プレビューダイアログを表示します。

- コピーまたはスキャン機能で、プレビューボタンをクリックします。
プレビューダイアログが表示されます。
- 「読込エリア」ボタンをクリックします。

2

読込エリアを設定します。

- 「単位選択」で設定単位を選択します。
- 開始位置を座標値で設定します。
- サイズを設定します。
プルダウンメニューから規定の用紙サイズを選択するか、ボックスに直接サイズを入力することもできます。
- プレビューダイアログに設定したサイズの読込エリア枠が表示されます。
- 「閉じる」ボタンをクリックします。
コピーやスキャンをスタートすると、この読込エリア枠内の画像をコピー出力、または保存します。



プレビューダイアログに表示された読込エリア枠をドラッグすることにより、位置を移動することができます。

複数の読込エリアを設定する

1

プレビューダイアログを表示します。

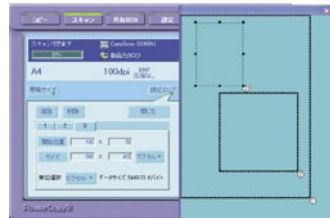
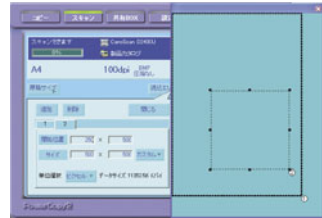
- コピーまたはスキャン機能で、プレビューボタンをクリックし、プレビューダイアログを表示します。
- 「読込エリア」ボタンをクリックします。



2

読込エリアを追加します。

- 「追加」ボタンをクリックします。
読込エリアのタブが追加表示されます。
- 「単位選択」で追加するエリアの設定単位を選択します。
- 追加するエリアの開始位置を座標値で設定します。
- 追加するエリアのサイズを設定します。
- プレビューダイアログに設定したサイズの読込エリア枠がタブ番号と同じ番号付きで表示されます。
コピーやスキャンをスタートすると、読込エリア枠ごとに画像をコピー出力、または保存します。



読込エリアは、10個まで指定することができます。



読込エリアを削除する場合は、削除する読込エリアのタブを選択し、「削除」ボタンをクリックします。

第3章

PowerCopy2

PowerCopy2サーバ の使い方

PowerCopy2 サーバの起動と終了

PowerCopy2 サーバの起動

[スタート] ボタン → [(すべての) プログラム] → [PowerCopy2] → [PowerCopy2 サーバ] をクリックします。

PowerCopy2 サーバ起動時、PowerCopy2 サーバ基本ダイアログは最小化され、タスクバーに表示されます。



タスクバーの PowerCopy2 サーバアイコンをクリックすると、PowerCopy2 サーバ基本ダイアログが表示されます。

PowerCopy2 サーバの終了

PowerCopy2 サーバ基本ダイアログにある終了ボタンをクリックします。



PowerCopy2 サーバ基本ダイアログが最小化され、タスクバーに表示されている場合はタスクバーの PowerCopy2 サーバアイコンを右クリックし、表示されるコンテキストメニューから [終了] を選択すると、PowerCopy2 サーバを終了することができます。

PowerCopy2 サーバの画面について

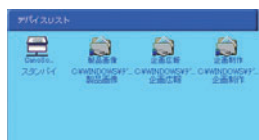
3

● 第3章 PowerCopy2 サーバの使い方

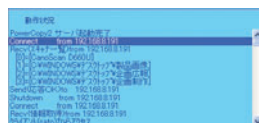


PowerCopy2 サーバは、接続されているスキャナや共有BOXの管理や、PowerCopy2のアクセスを管理します。

PowerCopy2 については「第2章 PowerCopy2 の使い方」をご覧ください。



接続されているスキャナや共有化されているフォルダ「共有BOX」を表示します。



PowerCopy2 サーバに対する PowerCopy2 のアクセスの状況を表示します。

アクセス設定 ▼

PowerCopy2 のアクセス管理を行います。

共有BOX設定 ▼

共有BOX 設定ダイアログが表示され、共有BOX の追加 / 削除を行います。

動作ログ設定 ▼

動作状況のログファイル設定ダイアログが表示されます。

読み取り中断 ▼

動作中のスキャナ読み込み処理を中止します。

バージョン情報 ▼	PowerCopy2 サーバのバージョン情報を表示します。
ヘルプ ▼	PowerCopy2 サーバのヘルプを表示します。
アイコントレイ ▼	PowerCopy2 サーバの基本ダイアログを最小化し、アイコントレイに表示します。
終了	PowerCopy2 サーバを終了します。

スキャナ、共有 BOX の管理

3

● 第 3 章 PowerCopy2 サーバの使い方

ネットワークモードの PowerCopy2 は、PowerCopy2 サーバに接続されたスキャナからの画像読み込みと、PowerCopy2 サーバ上で共有化されたフォルダ「共有 BOX」からの画像読み込みを行うことができます。

スキャナの接続

PowerCopy2 サーバは、コンピュータにインストールされているスキャナのデバイスドライバを自動認識し、画像の読み込みを行います。

PowerCopy2 サーバでご使用の前に、お使いのスキャナの取扱説明書をよくお読みの上、デバイスドライバのインストールや、接続が正しく行われ、スキャナが正常動作しているかどうかご確認ください。



PowerCopy2 サーバに複数台のスキャナを登録した場合、ご環境によっては起動時にスキャナドライバのエラーメッセージが表示される場合があります。その場合は、ご使用のスキャナの取扱説明書をご覧ください。

共有 BOX の設定

PowerCopy2 サーバを Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP の各 OS 上で使用することで、共有 BOX 機能をご使用いただけます。

PowerCopy2 サーバ上に「共有 BOX」というフォルダを作成して、画像を共有化することができます。

PowerCopy2 は、この共有 BOX にアクセスして、画像を読み込むことができます。また、PowerCopy2 サーバと同じネットワークにある他のコンピュータ上の共有フォルダや、メモリースティック、CF、スマートメディア、デジタルカメラなど、リムーバブルディスクとして認識できるメモリーデバイスを共有 BOX として使用することができます。



各メモリーデバイスに対応したメモリーカードアダプターが必要です。

デジタルカメラは、USB 対応のカメラなど、リムーバブルディスクとして認識できる機種にのみ対応しています。

また、メモリーデバイスとコンピュータの接続方法や使用方法等については、メモリーデバイスの取扱説明書を参照ください。



共有 BOX は、20 個まで指定することができます。



PowerCopy2 では、1 つの共有 BOX 内で 1000 ファイルまでを管理することができます。

共有 BOX を追加する

1

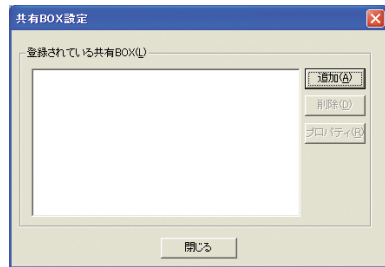
共有 BOX 設定ダイアログを表示します。

- PowerCopy2 サーバ基本ダイアログで、[共有 BOX 設定] ボタンをクリックします。
共有 BOX 設定ダイアログが表示されます。

2

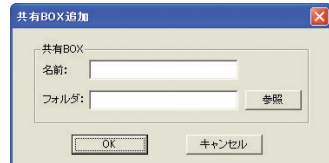
共有 BOX を追加します。

- [追加] ボタンをクリックします。
共有 BOX 追加ダイアログが表示さ

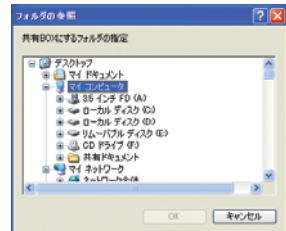


れます。

- 「名前」に共有するフォルダの名前を入力します。
- 「フォルダ」の「参照」ボタンをクリックします。
フォルダの参照ダイアログが表示されます。



- 共有 BOX として設定するフォルダや、メモリーデバイスを選択します。

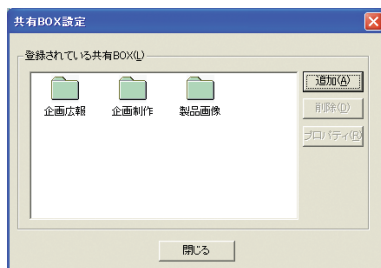


モ



「フォルダ」のエディットボックスに直接パスを入力することもできます。

- [OK] ボタンをクリックします。
共有 BOX 追加ダイアログの「フォルダ」に選択したフォルダ、メモリーデバイスの名前が表示されます。
- 共有 BOX 設定ダイアログで [閉じる] ボタンをクリックします。



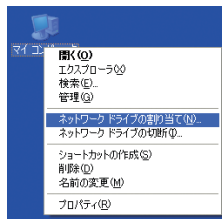
ネットワーク上で共有されているフォルダを共有 BOX として追加する

ネットワーク上の、他のコンピュータにある共有フォルダを共有 BOX として設定することができます。この場合、そのフォルダをネットワークドライブとして割り当てる必要があります。

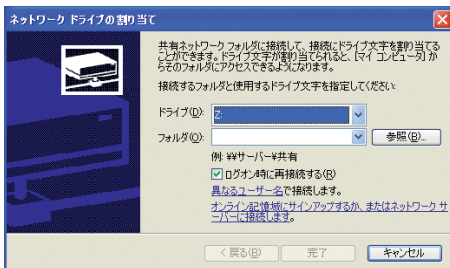
1

共有されているフォルダをネットワークドライブとして割り当てます。

- PowerCopy2 サーバのインストールされたコンピュータでマイコンピュータを右クリックします。
- 表示されるコンテキストメニューから、[ネットワークドライブの割り当て] を選択します。ネットワークドライブの割り当てダイアログが表示されます。

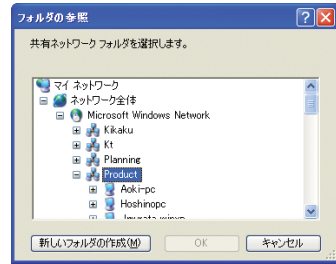


- 「ドライブ」のドロップダウンリストから、共有 BOX として設定するフォルダに割り当てるドライブを選択します。
- [参照] ボタンをクリックします。フォルダの参照ダ



イアログが表示されます。

- 共有BOXに設定するフォルダを選択します。
- [OK] ボタンをクリックします。
- ネットワークドライブの割り当てダイアログで [完了] ボタンをクリックします。



2

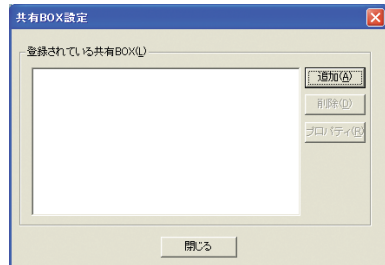
共有 BOX 設定ダイアログを表示します。

- PowerCopy2 サーバ基本ダイアログで、[共有 BOX 設定] ボタンをクリックします。
- 共有 BOX 設定ダイアログが表示されます。

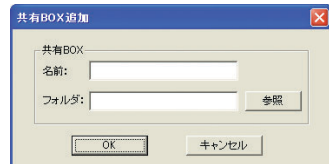
3

共有 BOX を追加します。

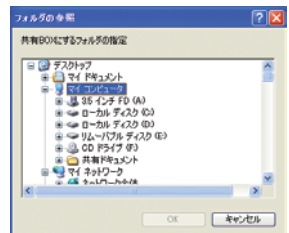
- [追加] ボタンをクリックします。
- 共有 BOX 追加ダイアログが表示されます。



- 「名前」に共有するフォルダの名前を入力します。
- 「フォルダ」の「参照」ボタンをクリックします。
- フォルダの参照ダイアログが表示されます。

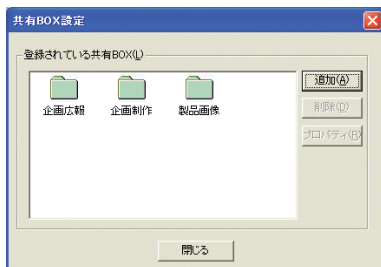


- 「1」で割り当てたネットワークドライブを選



扱します。

- [OK] ボタンをクリックします。
共有 BOX 追加ダイアログの「フォルダ」に選択したフォルダ、メモリーデバイスの名前が表示されます。



- 共有 BOX 設定ダイアログで [閉じる] ボタンをクリックします。

共有 BOX を削除する

1

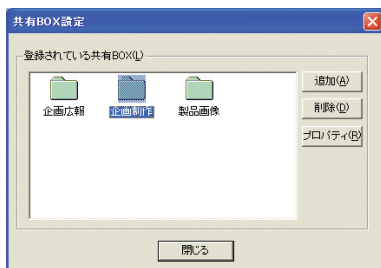
共有 BOX 設定ダイアログを表示します。

- PowerCopy2 サーバ基本ダイアログで、[共有 BOX 設定] ボタンをクリックします。
共有 BOX 設定ダイアログが表示されます。

2

共有 BOX を削除します。

- 「登録されている共有 BOX」 から、削除する共有 BOX を選択します。
- [削除] ボタンをクリックします。
- [閉じる] ボタンをクリックします。



PowerCopy2 のアクセスを管理する

共有するデバイスへの PowerCopy2 からのアクセスを管理します。

全 PowerCopy2 からのアクセスを許可する

1

アクセス設定ダイアログを表示します。

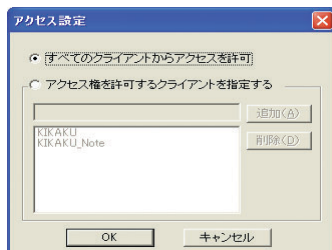
- [アクセス設定] ボタンをクリックします。
アクセス設定ダイアログが表示されます。



2

全 PowerCopy2 からのアクセスを許可します。

- 「全てのクライアントからアクセスを許可」ラジオボタンをクリックします。
- [OK] ボタンをクリックします。



アクセスを許可する PowerCopy2 を指定する

1

アクセス設定ダイアログを表示します。

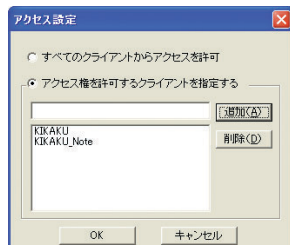


- 「アクセス設定」 ボタンをクリックします。
アクセス設定ダイアログが表示されます。

2

アクセスを許可する PowerCopy2 を指定します。

- 「アクセスを許可するクライアントを指定する」 ラジオボタンをクリックします。
- エディットボックスにアクセスを許可する PowerCopy2 のコンピュータ名または IP アドレスを入力します。
- 「追加」 ボタンをクリックします。
リストに追加した PowerCopy2 が表示されます。
- 「OK」 ボタンをクリックします。



PowerCopy2 のアクセス権を削除する

1

アクセス設定ダイアログを表示します。

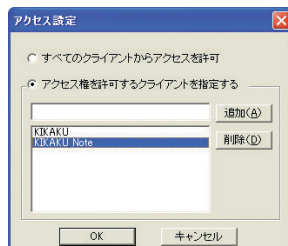
- [アクセス設定] ボタンをクリックします。
アクセス設定ダイアログが表示されます。



2

アクセス権を削除する PowerCopy2 を指定します。

- リストからアクセス権を削除する PowerCopy2 を選択します。
- [削除] ボタンをクリックします。
リストから選択した PowerCopy2 が削除されます。
- [OK] ボタンをクリックします。



ログファイル出力

PowerCopy2 サーバの動作ログをファイルに出力することができます。

3

● 第3章 PowerCopy2 サーバの使い方

ログの取得を開始する

1

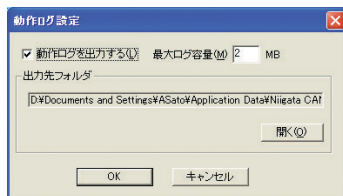
動作ログ設定ダイアログを表示します。

- PowerCopy2 サーバ基本ダイアログで、「動作ログ設定」ボタンをクリックします。
動作ログ設定ダイアログが表示されます。

2

動作ログ取得を ON にします。

- 「動作ログを出力する」にチェックを入れます。
- 「最大ログ容量」に保存するログファイルの最大容量を指定します。
- [OK] ボタンをクリックします。



ログファイルの容量が、ここで指定した容量を超えた場合、古いファイルから削除されます。



ログファイルの出力先フォルダは変更することができませんのであらかじめご了承ください。

ログファイルを参照する

1

動作ログ設定ダイアログを表示します。

- PowerCopy2 サーバ基本ダイアログで、[動作ログ設定] ボタンをクリックします。
動作ログ設定ダイアログが表示されます。

2

ログファイルを参照します。

- [開く] ボタンをクリックします。
- 参照するファイルを選択します。
- ノートパッドなどのテキストエディターで参照することができます。

第4章

環境設定

Power Copy2

PowerCopy2 の使用環境を設定する

PowerCopy2 の設定機能では、PowerCopy2 起動時のスキャナなどのデバイスや、スタイルなどを設定することができます。



4

● 第4章
環境設定

デフォルトスキャナ

通常使うスキャナをプルダウンメニューから選択します。

コピーや、スキャン機能を起動すると、ここで設定したスキャナが通常使うスキャナとして表示されます。

デバイス設定で登録されているスキャナがプルダウンメニューに表示されます。プルダウンメニュー中に該当するスキャナが表示されない場合は、[デバイス設定] ボタンをクリックして、スキャナを新規登録する必要があります。

デフォルトスタイル

通常使う読み込みスタイルをプルダウンメニューから選択します。

コピーや、スキャン機能を起動すると、ここで設定したスタイルが通常使う読み込みスタイルとして表示されます。

登録されている読み込みスタイルがプルダウンメニューに表示されます。プルダウンメニュー中に該当する読み込みスタイルが表示されない場合は、コピー機能、またはスキャン機能ダイアログから [スタイル] ボタンをクリックし、スタイルを設定および保存する必要があります。

デフォルト機能

PowerCopy2 起動時のモードを選択します。

プレビュー解像度

コピーやスキャン機能でプレビューする際の、表示解像度を設定します。

ウィンドウ

ウィンドウ位置を保存するかどうか設定します。

ここで「位置を保存」を選択すると、PowerCopy2 終了時の、ウィンドウの位置と同じ位置に、次回起動時表示されます。

デバイス設定ボタン

「動作モード」で「ネットワーク」を選択した場合、コピーやスキャン機能で使用するスキャナや、共有 BOX 機能で使用する共有 BOX の設定を行います。

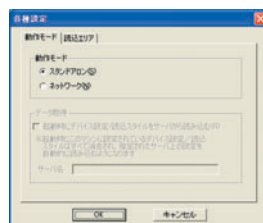
各種設定ボタン

PowerCopy2 の動作モード（スタンドアロン / ネットワーク）や、読込エリアの矩形枠の設定、PowerCopy2 サーバからのデータ読み込みに関する設定を行います。

●動作モードタブ — 動作モード

PowerCopy2 の動作モードを「スタンドアロン」、
「ネットワーク」から選択します。

「ネットワーク」を選択した場合は、PowerCopy2 サーバがインストールされたコンピュータが別途必要になります。

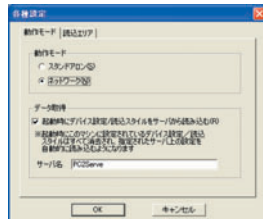


●動作モードタブ — データ取得

起動時にデバイス設定／読込スタイルをサーバから読み込む

PowerCopy2 サーバと同じコンピュータにインストールされた PowerCopy2 によって設定されたデバイス設定や読み込みスタイルの情報を読み込んで使用することができます。

チェックボックスにチェックを入れ、「サーバ名」に該当するサーバ名またはサーバの IP アドレスを入力します。



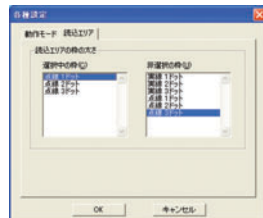
「起動時にデバイス設定／読込スタイルをサーバから読み込む」をチェックすると、PowerCopy2 側で設定／保存されたデバイス設定や読み込みスタイルはすべて消去され、PowerCopy2 サーバ側の設定が自動的に読み込まれます。

●読込エリアタブ — 読込エリアの枠の太さ 選択中の枠

プレビューダイアログに表示される読込エリアを選択した際の枠の太さを設定します。

●読込エリアタブ — 読込エリアの枠の太さ 非選択中の枠

プレビューダイアログに表示される読込エリアで選択されていないエリアの枠の太さを設定します。



読み込みスタイルを設定する

解像度、カラーモード、明るさ、コントラスト、ADFの有無、読込エリアは読み込みスタイルとして登録することができます。

一度スタイルを登録しておけば、次回から「読み込みスタイル」プルダウンメニューからそのスタイルを選択するだけで各設定を行うことができます。

4

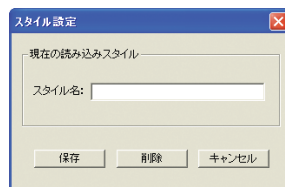
● 第4章 環境設定

スタイルの登録

1

登録するスタイルの詳細を設定し、登録します。

- コピーまたはスキャンダイアログを表示します。
- 解像度、カラーモード、明るさ、コントラスト、ADFの有無、読込エリアの各項目を設定します。
- 「スタイル」ボタンをクリックします。
スタイル設定ダイアログが表示されます。
- このスタイルに付ける名前を入力します。
- 「保存」ボタンをクリックします。



スタイルの削除

1

登録されているスタイルを削除します。

- コピーまたはスキャンダイアログを表示します。
- スタイルのプルダウンメニューから削除するスタイルを選択します。
- 「スタイル」ボタンをクリックします。
選択したスタイル名のスタイル設定ダイアログが表示されます。
- 「削除」ボタンをクリックします。

ユーザーサポートセンターについて

本製品の取り扱い方法、サービスについては下記弊社ユーザーサポートセンター
にお問い合わせください。

ユーザーサポートセンター

FAX : 025-244-8561
TEL : 025-244-6445
E-Mail : support@niigata-canotec.co.jp
Web : <http://www.niigata-canotec.co.jp/>

受付時間

FAX : 24 時間受付
TEL : 月曜～金曜（弊社休業日・祝日・祭日は除く）
9:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00
E-Mail : 24 時間受付

Power Copy2

ユーザーズマニュアル

2003年12月 第2版

新潟キヤノテック株式会社